

CheckCIFへの対応

日本原子力研究開発機構 J-PARCセンター 大原 高志

E-mail: takashi.ohhara@j-parc.jp

CheckCIFの目的

- CIFファイルに文法上の誤りや記載ミスが無いか?
- 構造解析の過程で何かしらの間違い、見落としをしていないか?
 - 既知構造だった
 - 空間群が違った(対称心を見落としていた)
 - ディスオーダーを見落としていた
 - 原子のアサインを間違えた
 - 必要な手順が抜けていた(吸収補正、消衰効果の補正、etc.)

<u>想定外のアラートが出ていないかどうか、一通り確認を!</u>

Alertへの対応

Alert A: 深刻な問題

Alert B: 潜在的に深刻な問題

Alert C: 要確認

Alert G: 予期せぬ事態でないか確認

- ✓ Alert A, Alert Bについては、 対応が必要
- ✔ Alert C, Alert Gへの対応を 要求される場合も

想定外のアラートがあった場合:

アラートの内容を確認し、必要に応じて構造解析をやり直す

- 対称心を見落としていた
- ディスオーダーを見落としていた
- 重元素を含む結晶なのに吸収補正をスキップしていた

<u>測定上、消せないアラートがある場合:</u>

CIFのValidation Reply Form (VRF)にアラートが出る理由を書く

消せないAlertへの対応:VRFへの記載

試料結晶の質や結晶構造の特性上、消すことが現実的に不可能なalertは 生じ得る。その場合は、alertが生じる理由をVRFに真摯に記す。

风 Alert level B

PLAT088_ALERT_3_B Poor Data / Parameter Ratio

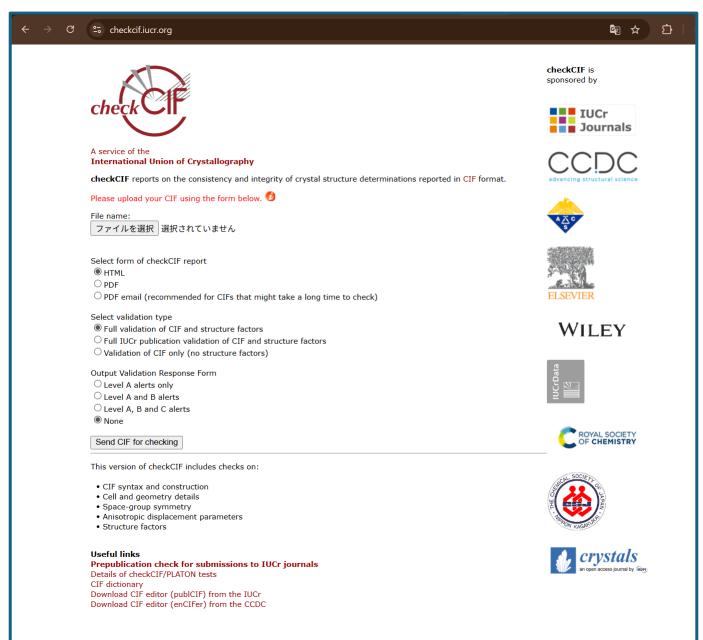


構造のディスオーダーが大きく、反射数/パラメータ数の比がが小さく なってしまった。そのため、構造精密化では適切な束縛条件を用いている。

その他のVRFへの記載例

- 様々な結晶化条件を試したが、これ以上質の高い単結晶が得られなかった (Rが大きい、結合長のエラーが大きい、等)
- ディスオーダー構造での精密化を試みたが、収束しなかった(残差電子密度) が大きい、異方性温度因子が長細い、等)

https://checkcif.iucr.org



構造解析を行ったら、先ず CheckCIF

- ✔ 解析手順を間違えてないか?
- ✓ 見落としが無いか?

構造解析を行う上で気を付けるべき点を、学ぶことに 繋がる